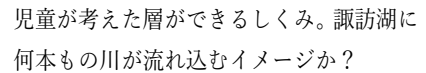
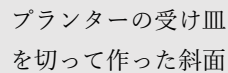


山をもとに地層をつくる

地層をつくるモデル実験は、テストをすると樋が川と答えられない、水槽が海と答えられない児童が多いのではないのでしょうか。今回、5年生の学習を活かして、流れる水のはたらきの実験装置に水槽を取り付けて実験をしました。どこから地層をつくる土砂が流れてくるのか、山が侵食されてなくなることがあるのか、上流から地層ができる水の中までを一体として児童が追究をしていました。



- ☐ 育苗トレー（あふれた水を受ける）
- ☐ コレクション展示ケース（水槽にする）
- ☐ プランター受け皿
（2つに切って斜面にする）
- ☐ 5号珪砂（白い砂、コンクリートの骨材として販売されている）
- ☐ 黒土



沈むのが速い5号珪砂と遅い黒土を混ぜたり分けたり層にしたりできる

- ① 斜面で地層の元になる山を作ることができ、実際の山や川と関係づけられる。
- ② 山のつくりや雨の降らせ方など、児童が自分の考えをもとにモデルを作ることができる。
- ③ 少ない砂の量で、繰り返し実験ができる。
- ④ 透明な容器は緑が透明で地層を四方から観察できる。
- ⑤ できた地層をそのままの状態で保存できる。

できた地層を正面・側面からとえてスケッチしていた。謎の黒線は何か、掘り返して追究したもあった。

